

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)

【公開番号】特開 2003-233715 (P2003-233715A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 22 日 (2003.8.22)
 【出願番号】特願 2002-32727 (P2002-32727)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 17/60

【 F I 】

G 0 6 F 17/60 1 7 6 Z

G 0 6 F 17/60 1 2 6 U

G 0 6 F 17/60 5 0 6

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 2 月 4 日 (2005.2.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1】

生活環境内における管理対象物と生活者とに関する情報を収集して加工し、生活情報として管理する生活情報管理システムであって、

管理対象物に取付けられて、該管理対象物の情報をデータとして保持する記録保持手段、および外部と無線による情報通信が可能な通信手段を有する第一のデータタグと、

生活者に携帯されて、該生活者の情報を保持する記録保持手段、および外部と無線による情報通信が可能な通信手段を有する第二のデータタグと、

外部との間で無線による情報通信が可能な通信手段、および該情報通信に基づいて通信情報を記録する記録手段を有する観察機と、

第一のデータタグ、第二のデータタグ、および観察機のうちのいずれかの間で通信された情報を観察機の通信手段を介して収集して加工する処理を行う情報処理手段とを含み、

各通信手段は、無線による情報通信が到達可能な通信距離を複数設定することが可能であることを特徴とする生活情報管理システム。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 10
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 10】

生活環境内における管理対象物と生活者とに関する情報を収集して加工し、生活情報として管理する生活情報管理方法であって、

管理対象物に、該管理対象物の情報をデータとして保持し、外部と無線による情報通信が可能な第一のデータタグを取付けておき、

生活者に、該生活者の情報を保持し、外部と無線による情報通信が可能な第二のデータタグを携帯させ、

第一のデータタグと第二のデータタグとの間の情報通信、および第一のデータタグまたは第二のデータタグとの情報通信が到達可能な通信距離を複数設定することが可能であり、これらで送受信される情報を収集して加工し、生活情報として管理することを特徴とする生活情報管理方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明は、生活環境内における管理対象物と生活者とに関する情報を収集して加工し、生活情報として管理する生活情報管理システムであって、

管理対象物に取付けられて、該管理対象物の情報をデータとして保持する記録保持手段、および外部と無線による情報通信が可能な通信手段を有する第一のデータタグと、

生活者に携帯されて、該生活者の情報を保持する記録保持手段、および外部と無線による情報通信が可能な通信手段を有する第二のデータタグと、

外部との間で無線による情報通信が可能な通信手段、および該情報通信に基づいて通信情報を記録する記録手段を有する観察機と、

第一のデータタグ、第二のデータタグ、および観察機のうちのいずれかの間で通信された情報を観察機の通信手段を介して収集して加工する処理を行う情報処理手段とを含み、

各通信手段は、無線による情報通信が到達可能な通信距離を複数設定することが可能であることを特徴とする生活情報管理システムである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明に従えば、生活情報管理システムは、生活環境内における管理対象物と生活者とに関する情報を収集して加工し、生活情報として管理するために、第一のデータタグと、第二のデータタグと、観察機と、情報処理手段とを含む。第一のデータタグは、管理対象物に取付けられて、その管理対象物の情報をデータとして保持する記録保持手段、および外部と無線による情報通信が可能な通信手段を有する。第二のデータタグは、生活者に携帯されて、該生活者の情報を保持する記録保持手段、および外部と無線による情報通信が可能な通信手段を有する。観察機は、外部との間で無線による情報通信が可能な通信手段、および該情報通信に基づいて通信情報を記録する記録手段を有する。情報処理手段は、第一のデータタグ、第二のデータタグ、および観察機のうちのいずれかの間で通信された情報を観察機の通信手段を介して収集して加工する処理を行うので、管理対象物と生活者との関係を容易に把握することができる。情報処理手段は、第一のデータタグおよび第二のデータタグとそれぞれ情報通信が可能であるので、情報通信に伴って受信される情報を収集して加工することによって、生活情報を有効に管理することができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

さらに本発明は、生活環境内における管理対象物と生活者とに関する情報を収集して加工し、生活情報として管理する生活情報管理方法であって、

管理対象物に、該管理対象物の情報をデータとして保持し、外部と無線による情報通信が可能な第一のデータタグを取付けておき、

生活者に、該生活者の情報を保持し、外部と無線による情報通信が可能な第二のデータタグを携帯させ、

第一のデータタグと第二のデータタグとの間の情報通信、および第一のデータタグまた

は第二のデータタグとの情報通信が到達可能な通信距離を複数設定することが可能であり、これらで送受信される情報を収集して加工し、生活情報として管理することを特徴とする生活情報管理方法である。